



盛岡市プレスリリース

～みんなで伝えよう盛岡の魅力～

令和6年12月26日
市長公室企画調整課
都市戦略室

市政記者クラブ加盟社 各位

「MORIOKA CINEMAS AND BOOKS」の開催について

盛岡ブランド市民推進委員会では、盛岡にゆかりのある映画や本などをテーマに市の魅力を市内外へ発信しながら、市民に街が培ってきた本と映画の文化に触れてもらうことで、地域への愛着や誇りを持つきっかけとするためのイベント「MORIOKA CINEMAS AND BOOKS」を開催いたします。

つきましては、取材についてご配慮くださいますようお願いいたします。

記

【日 時】 令和7年1月11日（土） 19:15～21:30

【場 所】 monaka（盛岡市中ノ橋通1-6-8）

【料 金】 無料（事前予約制）

【内 容】

閉館後の「monaka ひろば」で、盛岡各地でロケも行われたドラマの劇場版「そして、生きる（主演：有村架純さん、坂口健太郎さん）」の1日限りの上映会を開催します。19時までにフードマールシェでお好きな軽食やドリンクをご用意して、上映会をお楽しみください。詳しい内容については「盛岡という星で」ホームページをご覧ください。

<詳細>

盛岡という星で公式サイト

WEB https://planetmorioka.jp/cinemas_and_books_24-25/

Instagram https://www.instagram.com/planet_morioka/

<参考>

「まちと映画のブック展」

【日 時】 令和6年11月20日（水）～令和7年1月11日（土）まで

【場 所】 盛岡市立図書館（盛岡市高松1-9-45）

【料 金】 無料

【内 容】

「まち」「映画」「ブック」をテーマに、盛岡の文化をゆるやかに本で繋ぐ展示会を行っています。併せて盛岡の写真パネルなども展示しています。

【問い合わせ先】

盛岡市市長公室都市戦略室

担当：鷹木（たかぎ）

TEL：613-8370

E-mail：toshisen@city.morioka.iwate.jp

MORIOKA CINEMAS AND BOOKS 2024

盛岡が舞台の映画と盛岡を深掘る本の
上映会 & ブック展

MORIOKA CINEMAS AND BOOKS 2024

monaka

The planet MORIOKA

MORIOKA CITY
LIBRARY

● CINEMAS 2025.1.11 19:15-
“Soshite, ikiru” [at monaka]

● BOOKS 2024.11.20-2025.1.11
Special book selection [at Morioka City Library]



©2019 WOWOW

CINEMAS

2025.1.11(土)19:15～

夜の monaka でマルシェと映画を
「劇場版 そして、生きる」上映会

monaka ひろば(盛岡市中ノ橋通 1-6-8)



BOOKS

2024.11.20(水)～2025.1.11(土)

盛岡の街や映画にまつわる本をセレクトした
「まちと映画のブック展」

盛岡市立図書館(盛岡市高松1-9-45)



お申し込み・詳細



CINEMAS

2025年、盛岡に 映画祭が帰ってくる！ 「もりおか座映画祭2025」

〈映画の力〉プロジェクト

「まちなか全部が映画館」という気になるテーマを掲げて、新しい映画祭の開催が発表されました。このチャレンジに取り組むのは、〈映画の力〉プロジェクトのみなさん。今までも盛岡市出身の友友啓史監督作「レジェンド&バタフライ」ほかの世界最速上映や、木伏緑地での屋外上映会など、ユニークなアイディアと草の根のバイタリティで映画の魅力を次々と表現してきた市民団体です。「もりおか映画祭」を最後に2019年から途切れてしまっている映画のお祭りが、いよいよ2025年、復活します！

ちなみに2025年といえば街ナカに新しい劇場のオープンも控えていて、シネフィルでなくても映画に触れる機会が増えそうな予感。ふらりと映画館に立ち寄れる街のありがたみを噛み締めつつ、「もりおか座映画祭」ではどんな作品をどのように見ることができるのか、みんなで楽しみに待つことにしましょうか。



プレイベントも大盛況でした

「映画の作り手と交流したり、若い人が関わったりできる企画にしたい」という「もりおか座映画祭」。9月に開催したプレイベントもまさにそんな内容となりました。

岩手県出身の脚本家・奥寺佐渡子さんが手掛けた名作「サマーウォーズ」を上映した「もりおかサマーミッション」では、学生メンバーによるファンアート展なども併設して、3000人を超える来場者を記録。前日に開催した奥寺さんとの座談会イベントでも、普段なかなか聞くことのできない制作現場の話などを、会場を埋めた映画ファンが楽しめました。

盛岡の映画祭ヒストリー	
1997～2006	みちのく国際ミステリー映画祭
2007	いわて盛岡映画祭
2008～2019	もりおか映画祭 (2016年は開催なし)
2012～2019	ラヂオもりおか音楽映画祭

コラム CINEMA STREET

映画館通りは庭だった。それは、「近い」とか「よく行く」とかの意味ではなくて本当に庭だった。家は映画館通りまで徒歩5分。子どものころ体が弱かった私は、毎週月曜日は母に連れられ病院に通って注射を打っていて、そのご褒美として帰りに大通りで外食をしたり映画を観たりしていた。高学年になると毎週日曜日に近所の友達とスイミングスクールに通いだし、映画館通りを通過してあちこちの路地を抜け空気を吸って帰る。中学に入ると、共働きで週末も忙しい親は小遣いとは別に映画を観るお金をくれたので、朝から3本立ての映画を観たり、気に入った映画を何度も観に行ったりもした。高校時代は毎週土曜の学校帰りに必ず映画を観ると決めていて、授業中に仲のいい友達とこっそり手紙のやり取りをしてどの映画を観るか決めるのが楽しかった。そんな私が映画館の「中の人」になって毎日映画館通りに通い始めてもうウン十年。……つまり私は、庭から出られていない引きこもりなのか？ だとしたらもう腹をくくってこの先も、時代とともに移り変わっていく映画館通りを見つめ後世に伝える生き字引きとなるしか道はない。私の庭がこの先もずっと同じ場所にありますように。

文・中央映画劇場 工藤 美佳

映画館通りを永遠に

劇場が選ぶこの冬の一本 CINEMAS PICK UP

師走から年明けの浮き立つ街とコントラストを成す暖かさや落ち着いた、冬の映画館の良さだと思う。街ナカに劇場がある盛岡なら尚更。というわけで、各劇場のこの冬のラインナップから一本ずつご紹介いただきました。

中島みゆきコンサート「歌会VOL.1」劇場版 出演／中島みゆき



東京国際フォーラムと大阪フェスティバルホールの2会場、計16公演を開催した『歌会 VOL.1』を収録。ドラマ「Dr. コート診療所」主題歌「銀の龍の背に乗って」など、全19曲を5.1chのサラウンドで上映する。

盛岡ピカデリーにて
12/27(金)公開

©2024 YAMAHA MUSIC ENTERTAINMENT HOLDINGS, INC.

大きな家

監督／竹林亮 企画・プロデュース／齊藤工
主題歌／ハンバート ハンバート



「14歳の葉」[MONDAYS]の竹林亮監督が、東京の児童養護施設に密着。さまざまな事情で親と離れて暮らす子どもたちの、迷いながら大人になっていく姿や、彼らを支える周囲の温かな眼差しを映し出す。中央映画劇場にて12/20(金)公開

©CHOCOLATE Inc.

サンセット・サンライズ

監督／岸善幸 原作／楢周平 脚本／宮藤官九郎
出演／菅田将暉、井上真央ほか



脚本家の宮藤官九郎と「正欲」の岸善幸監督の異色のコラボが、楢周平の原作（講談社文庫）を映画化。東京から南三陸に移住したサラリーマンと住民たちの交流を、コロナ禍や震災などの問題を盛り込みユーモアも交えて描く。

フォーラム盛岡にて
1/17(金)公開

© 楢周平 / 講談社 ©2024「サンセット・サンライズ」製作委員会

コラム BOOKS

アイホンと本



アイホン、イヤホン、本。出かける時に忘れないよう、いつも唱えている。

読みたい本には困ることがない。何せここは盛岡だ。行けば欲しい本が見つかる個人書店から、欲しい本はだいたい置いてある大手の書店まで、ラインナップに隙がない。郊外に出たら出たで大型店が外野手のように散らばって、広い守備範囲をカバーしている。この本なら置いてそうと思えば、子供の頃からお世話になっている街の総合書店を目指す。書店カバーはやっぱり地元のものに限っているからだ。

そんな風にして買った本をどこで読むか。もちろん喫茶店だ。「waltz」からの窓越しの雪、屋下ガリの「リーベ」、週末の「Nagasawa COFFEE」のざわめきも悪くない。喫茶店には2種類あると思っている。スマホでダラけられる店と、そうしたくない店だ。700ページの大作に挑もうという時に前者に行ってはいけない。本、本、スマホ、本、スマホスマホ、本、スマホスマホスマホスマホで2時間を溶かす羽目になる。

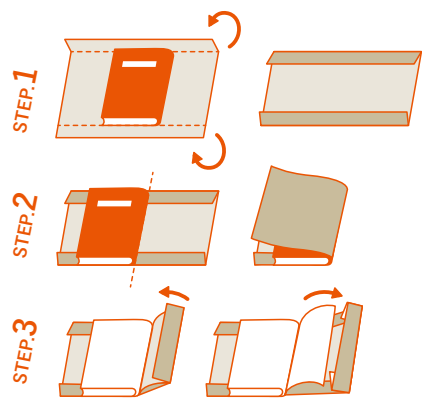
今日は「読むぞ」の日。「こんにちば」と店主。「座れますか？」と僕。注文をして、本と向き合う。あの書店主が選んだ、世界を押し広げてくれる一冊を開く時もあれば、少しくたびれた書店カバーが愛しい長編のラストを惜しみながら読むこともある。読みたい本だけでなく、読む場所にも困らないのは幸せなことだ。ページを捲り、息継ぎをするようにコーヒーを啜る。アイホンはカバンの中。束の間のオフラインの時間。そろそろ次の本を買って帰らないとな。

文・盛星編集部 Y

BOOKS

実はこのフライヤー ブックカバーにも なるんです

イラストのように折って包めば、オリジナルブックカバーのできあがり。今読んでる本に被せてあげてください！



盛岡を感じる一冊

BOOKS PICK UP

盛岡藩 南部重直伝説

殿、江戸豆腐でございます。

(著者)高橋智 (発行)盛岡出版コミュニティ



さわや書店
栗澤 順一さん

総務省の家計調査で、豆腐の購入額が全国上位に入り続けている盛岡。とはいえ、その由来や歴史に触れた書籍は見つかるのが大変です。そんななか本書は盛岡と豆腐の関わり合いを正面から扱った良書。読めば読むほど、豆腐が美味しく感じられることでしょう。

街なかローカル書店のみなさんに「盛岡を感じる一冊」を選んでもらいました。大人も見応えのある漫画から硬軟それぞれのアプローチで見る歴史モノ、あの名編集者によるロマンティックな盛岡案内まで、お店のカラーが表れたセレクションになりました。

義経になった男 全4巻

(著者)平谷美樹 (発行)角川春樹事務所



東山堂川徳店
高橋 由莉和さん

嘉応二年。朝廷が行った強制移住で近江国に生まれ育った蝦夷のシレットコロは、まだ見ぬ本当の故郷・奥羽を想っていた。古くは歌舞伎や能、現代では小説やドラマで、日本人が好んで題材にする歴史的悲劇のヒーロー・源義経。実は影武者も多いのがこの人物。そう、本作品の主人公の一人は義経の影武者で、なんと蝦夷！こんな義経文学読んだことない。義経通も唸る一作。

まんが岩手人物シリーズ 宮沢賢治 改訂版

(著者)泉秀樹 (作画)山田えいし (監修)板谷英紀 (発行)岩手日報社

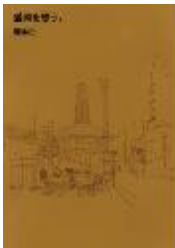


書肆みず盛り
山下 桂樹さん

ご存じ宮沢賢治の短い生涯を漫画で説明する「まんが岩手人物シリーズ」の一冊。シリーズには石川啄木などもラインナップされていて、ごく最近改定されました。コラムや年表が見やすくってけこう勉強になります。実はロングセラーのシリーズなんです。

盛岡を想う。

(著者)岡本仁 (発行)BOOKNERD



BOOKNERD
早坂 大輔さん

長く住み慣れた街の輝きを忘れてしまうことがよくある。そのうつくしさやすばらしさに慣れてしまうと、目がくぐってしまうのだろう。その点、旅行者の視点で歩いた街には新鮮な驚きと発見がある。街歩きの人ならばなおさらだ。よそ行きの街でもなく、生活者の街でもない。案外そこに真実の盛岡の魅力が隠されているのかもしれない。

雑貨店「hina」さんに聞きました

この10年のBEST10 映画は なんですか？

年末に「hina」さんがブログでこっそり(?)発表している、「今年劇場で観て好きだった映画ランキング」。特別に、過去10年間のベストを決めてもらいました！



1 さらば愛しきアウトロー 2 スリー・ビルボード 3 シング・ストリート 未来へのうた

- | | |
|-------------------|--------------|
| 4 ベルファスト | 7 少年の君 |
| 5 レディ・バード | 8 こちらあみ子 |
| 6 マンチエスター・パイ・ザ・シー | 9 寝ても覚めても |
| | 10 もらとりあむタマ子 |

「hina 竹花恵さん」当時の順位とは変わって面白かったです。熟成するのから(笑)「もらとりあむタマ子」を見直したら、当時はグラグラ笑っていた場面で、切なくて泣けてきたりして。自分の境遇や気持ち、経験で感じ方が変わるのが映画の面白さですね。

EVENT

「劇場版 そして、生きる」

1/11(土) 19:15～【要予約】

@monaka ひろば(monaka)



おやつや
軽食を買って
そのまま映画を
楽しもう

©2019 WOWOW

閉館後の「monakaひろば」で上映会を行います。19時まではマルシェタイム。フードマルシェでお好きな軽食やドリンクを用意して、夜の上映会を楽しみましょう。コーヒヤ、ビールだってOKです。予約はこちら

有村架純&坂口健太郎主演で、盛岡各地でロケも行われたドラマの劇場版。3歳のときに事故で両親を亡くした瞳子(有村架純)は、盛岡で伯父と暮らしていた。女優を志すようになった瞳子だったが、オーディションの前日に東日本大震災が発生。震災後、ボランティア活動に参加した彼女は、そこで大学生・清隆(坂口健太郎)と出合い…

2019年/135分/WOWOW 監督/月川翔 脚本/岡田恵和
出演/有村架純、坂口健太郎、知英、岡田山天、萩原聖人、光石研、南果歩 ほか

Time schedule 18:30 受付スタート～マルシェタイム／19:00 monaka 閉館／19:15 上映開始／21:30 終了

展示 BOOKS

盛岡市立図書館セレクション まちと映画のブック展

11/20(水)～1/11(土)

@ 盛岡市立図書館 ※休館日にご注意ください

盛岡の豊かな文化を「本」で表現しました！

「まち」「映画」「ブック」をテーマに、盛岡の文化をゆるやかに本で繋ぐ展示です。くだりいんさんら現代の人気作家の作品から、街の文化史を記した貴重な資料まで、見応えたっぷりな数十冊を司書さんがセレクト。併せて盛岡の写真パネルなどもご覧いただけます。思う存分長居して、本に浸ってみてください。もちろん貸し出しもOKです！



オンディースでナポリタン

オンディース/盛岡市大通

どこかのプリンセスが掛けていそうなロココ椅子と、甘酸っぱい湯気をたたえたナポリタン。傍には行儀良く棚に並ぶ漫画本。まるでタイムカプセルみたいな場所。ささ見た映画のパンフレットをめぐりながら、スバゲッティをもにもに食べる。コーヒの熱でとろとろになったホイップがケチャップの余韻を甘く上書きしながら、アロマを運んでくる。13時45分晴れ。土曜日はまだぜんぜんある。大勝利の週末。せったくだからもう少しのんびりしていこうかな。

